

富士・富士宮の情報検索サイト <http://ourai.tv/>

# お~らい+プラス

往来  
ALL RIGHT!

2009年  
4月号

ふじのみやのチャレンジ、バリューアップ、ステップアップを追う対談取材シリーズ パート4

## ▶ 元気の源。病にさえ感謝。

インタビュー：田邊元裕

有限会社富士ヘルス  
代表取締役

斉藤 茂樹 氏 (64)

春です!子どもの入学・進級・引越、はたまた、会社の決算や歓送迎会、人事異動など大忙しの事と思います。どんな時も、元気にやっていくにはやはり体が資本。今回は、富士宮市で腎臓病ながらも20年近く元気に頑張る、富士ヘルスの斉藤さんを訪ねました。

私は東北地方に生まれ、富士宮に拠点がある医療機器メーカーに就職が決まり富士宮に来ました。当時はバリバリと西へ東へ駆け回り、サラリーマン街道を突っ走っていました。

■それがどうしてまた、食品販売・食事療法専門店を開業することになったんでしょうか?

昭和50年代、自分が40歳代の頃に完治の難しい腎臓病になってしまい、会社を辞めることになりました。日々の無茶な食生活がたたったのでしょう。人工透析を避けることができなくなり、とことん落ち込んでしまいました。

しかし、お世話になった先生の助言、そして家族の支えがあって立ち直ることが出来、病と闘い続けることを決意しました。

その流れの中で、自分だけではない、多くの腎臓病や生活習慣病に苦しんでいる人の役に立ちたい、と「有限会社富士ヘルス」を創業しました。

■人工透析20年以上でも元気で過ごしている斉藤さんの秘訣はどんなところにあるのでしょうか。

まずは、家族の支援あつての生活に感謝しています。もう一つ、闘病の日々で特に感じたのは、病院の治療だけではない、民間療法・食事療法を活用した「自己管理」の必要性和重要性でした。今も患者である自分自身で、あらゆる方法を試して実践・研究しています。



### ■本も出版されたりしたとか?

はい。腎臓病体験から学ぶ教訓や自己管理法の実践例を本にまとめ出版しています。

ただ、健康に関する情報は大変デリケートで、その通りにすれば直る保証などありませんし、個人差もあります。まして私は医者でもありません。しかし「どうにもならなくて困っている・悩んでいる」人が何百万人もいる事実に向き、勇気を持って情報発信しています。

### ■地域の方々に伝えたいメッセージはありますか?

健康は、仕事も家庭も関係なく、すべての方に共通の元気の源です。他人任せではない、自分でできる自己管理法の手段・選択肢を地域の人に伝えていきたいです。

### ■腎臓病やC型肝炎で闘病中の方にも一言

はい。20年以上、つらいと思ってしまったらつらい闘病の年月でした。でも、今は病に「ありがとう」と、感謝できるようになり、決して楽じゃないが、楽しみもある日々になりました。

ぜひ、あなたと情報や悩みを共有し、元気づけのお手伝いをしていきたいです。

闘病の中と思えないくらい、パワフルな斉藤さんでした。また、治ることが一番なんでしょうけれども、「病とうまくつきあう」ための心の持ち方にも、きっと気づかれたのだと思いました。ありがとうございました。